

げんき通信

C O L U M N

げんきコラム

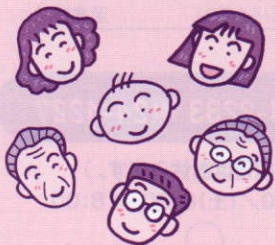
毎日夜9時までどうぞ!



平日の昼間には薬局に行く時間がなかなか取れない方へうれしいお知らせです。「<ほ薬局・医大通り店」は日曜日と祝日も、毎日夜9時まで営業しています。常時薬剤師が勤務していますので、処方せん調剤もできます。処方せんを先にお預かりして、薬は後からお渡しすることもできます。皆さまのご都合に合わせて便利にご利用ください。

※県庁通り店、木原店、中の小路店、北茂安店は土曜日も夕方まで開局しています。

処方せんはぜひ「<ほ薬局」におまかせください



すべての病院・医院の処方せんを受けつけ責任を持って調剤いたします。

肝臓のおはなし

肝臓はよほど悪くならないと自覚症状が生まれません。定期健診を受けましょう。



<北茂安店:薬剤師/もりやま>

大事なことを「肝心かなめ」といいますが、肝臓は心臓と同じくらい、生命の維持に大きく関わっている臓器です。右胸肋骨の下にあり、重さが体重の約2%(60キログラムの人なら12キログラム)で、脳と並んで最も重い臓器です。「体内の化学工場」と呼ばれている肝臓の働きは「食べた物をエネルギーに変える」「体に取り入れた物の解毒作用」「胆汁の生成」の3つに分けられます。

●栄養の代謝と貯蔵

肝臓は小腸で吸収された糖分、脂肪などをエネルギーに変えて貯蔵します。また、蓄えた栄養分を必要に応じて分解し、エネルギーとして体内に送り出します。こうした代謝の際に作り出される熱は、体温を維持していくのに大切なものです。

●解毒作用

アルコール、薬、食品添加物などを分解して無毒化する役目を持っています。肝機能が悪くなるとこの解毒作用も低下し、さまざまな病気の原因となり、薬によつては副作用も出やすくなります。また、アルコール、糖分などでカロリーを摂りすぎると、処理

●胆汁の生成と分泌

胆汁は腸内での消化・吸収を助ける消化液です。肝臓でつくられた胆汁はいったん胆のうに蓄えられてから十二指腸へ送られます。胆汁の主成分である胆汁酸は脂肪や脂肪性ビタミン(A・D・E・Kなど)の吸収を助けます。胆汁がうまく体外に排出されなくなると、血管に胆汁があふれることになり、胆汁は黄色をしているので、白目や皮膚が黄色く見えます。これが黄疸で、肝機能低下のひとつのシグナルです。

このように、日々、数多くの機能をこなしている肝臓ですが、よほど悪くならなければ自覚症状が生まれません。これは、肝細胞の一部が動かなくなっても、すぐに再生する能力を持っているからです。再生するまでは他の肝細胞が補って働くという優れた機能も持っています。そのため、少しずつ静かに症状が進み、はっきりした症状が出てからでは遅いということもあります。定期健診をぜひ受けてください。また、以下のような症状は肝臓からの悲鳴かもしれません。気づいた時は早めに受診してください。

- ◆体がだるく、疲れやすい。
- ◆お酒が弱くなった、ひどい二日酔いをするようになった。
- ◆食欲の低下、吐き気、発熱など、風邪に似た症状が出る。
- ◆皮膚や白目の部分が黄色くなっている。
- ◆右の肋骨の下に鈍い痛みがある。
- ◆親指の付け根や指先が赤くなったり、放射状の毛細血管が胸や背中に浮き出る。

ご家族みなさんのかかりつけ薬局としてご利用ください

あなたのまちのくすり箱

<ほ薬局

- 県庁通り店 ☎23-4550
- 中町店 ☎26-2817
- 木原店 ☎24-2233
- 中の小路店 ☎24-2882
- 西与賀店 ☎22-2311
- 医大通り店 ☎32-1133
- 北茂安店 ☎0942-89-1777